

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S 10

V O L . 11

平成22年11月19日発行

発行元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

一人ひとりの「思い」を出し合っ て「したい!」を具体的なカタチへ

11月5日
昼コース

昼コース第11回目。前回から、今回にかけて講座以外でさまざまな活動があったのでその報告から。福島県会津坂下の「だがしや楽校」とシンポジウムの報告、高円寺フェス、コリアンまつり、永福町オータムフェスタといったさまざまなイベントでも「だがしや楽校」として参加し、そうした実践例を参考にしながら、意見を言い合う。「集える場を1度開けばそれでよいのか?」、「何が出来るかわからないけれど、何かをしなければはじまらない!」、「具体的な目的やビジョンを、このメンバーで共有することが大事だ」、「男は仕事の毎日で地域へのつながりが本当でない。この先が不安だ」、「私は介護のこともあって、地域のつながりがなくなってしまったが...この講座をきっかけに外に出続けているとつながりが広がってきた」、など話し合いはどんどん深まる。そんなこともあり、今回は1時間かけて、一人ひとりがどんな思いをもっているのか改めて出し合った。講座当初にも同じようにお互いの動機や思いを話したが、今回出てきたのは、そのときよりもずっと重みのある言葉。自分のこれまでの背景、具体的な経験などが、言葉の端々に現われていた。また、そんな言葉とともに、このメンバーで改めて「やりたい!」ことを出し合う(右表)。この「したい!」を、どう具現化するのかに、この「メンバーでしかできない」活動が生み出されるはず。これからの話し合いが楽しみだ。(記事:川上)

こんな「したい!」が出そろった!
普通のイベントとの違いを出したい
地域で孤立する人をなくしたい 気軽に集える場づくり、人と関わりあえる場づくりをしたい 自分のできる範囲で楽しめることをしたい! お互いに持ち味を学びあえるような、ステップアップにある場にしたい このメンバーとの“絆”をつくりたい 楽しいことをやる! いやなことはやらない! 芋煮とかモチつきを中心にイベント的な場とする 杉並のことをクイズにしてみたい ものづくりを通して人とのかかわりをもちたい 今までは、子ども向けのものが多かったが、多世代をつなぐ「仕掛け」を考えたい!

11月14日
昼コース

交流だがしや楽校に参加! 横浜市つづき楽校の「わいわい横丁」へ

11月14日、暑くも寒くもない過ごしやすい1日。以前から交流のある横浜市都築区の「つづき楽校」が主催する「わいわい横丁」に、昼コースの有志11名で参加してきた。「わいわい横丁」のコンセプトは、「ぶらっと」寄って「きらっと」見つけて「ほこっと」しよう、というもの。楽校の受講生以外にも、さまざまな「つながり」を活かし、栃木県下野市や横浜の他区、また同じ区内で活動する団体などから、いろんな「自分みせ(見せ・店)」が出ていた。

会場は、駅の目の前にある広場で、人通りの多いところ。到着して、まずは看板とポスターづくり。目立ちやすいような看板を力を合わせて描いていく。その後は、各お店の準備。杉並からは、「お魚つりゲーム」、「毛糸でシュシュづくり」、「和のお箸、懐紙などのおもてなしセット」、「年の瀬の運勢を占うおみくじ」、「手作りハンコのポストカード」などの「自分みせ」が並んだ。

居心地のよい「ほこっと」した時間はあっという間に終わり、最後には今日の感想を書いて色紙に貼り、「つづき楽校」のみなさんに手渡しすると、とっても喜んでくださった。「杉並でやるときにはぜひ参加よろしく!」と、後の反省会で伝えてみると、拍手喝采! このつながりを私たちの「だがしや楽校」にもぜひ生かそう!



広報をつくろう+ 12/5 に向けて スケジュールを立ててみよう!

11月10日
夜コース

12月5日の「ワークショップ広場」まで一ヶ月を切り、各グループの題目も決定。具体的な広報活動計画と今後のスケジュールを想定シートに従って立ててみるようになった。

まず復習。「イベントを行う時には、何をやるのか?ということに気持ちがいってしまいますが、何のためにするのか、何がポイントなのか?を常に意識しておくことが大切です。」と広石さん。そのために「プログラム内容シート」で、自分たちのワークショップが参加者に何を提供したいのか、どんな人が、どんな体験をして、どうなるかを再確認しあった。

その上で広報を考えていく。対象者を明確にし、その人に届くコピーを作ることがポイント。そのためには対象者にとって気になっている言葉を使って目を引かせ、「自分のための講座かも?」と思わせるのが大事であるとのアドバイスをもらった。

次に取り出した「ワークショップのためのチェックポイント」シートで、チェックポイント解決のための具体策と、その必要なモノ・コトのリストアップの作業に移る。さらに「スケジュール想定シート」を使い、やるべきことを4段階に分けて整理していた。ワークショップの質を高めるには、参加者同士が交流を深められる工夫をすることが重要、それを忘れずに!

書く量や内容もさることながら、メンバーと刷りあわせ、意見をまとめながらシートを書いていくので、着地点がなかなか見出せないチームもあった。広石さん曰く、「集客も含め、すべての苦労の中に課題を認識することから学びが生まれる」。参加者だけでなく、受講生も「ワークショップ開催を実践」することで、一人ひとりのソーシャルアクションに向けた気付きを得られるか?今は生みの苦しみだが、がんばろう! (湊)

映像をどう有効に使う?

異世代の集め方は...

世代間交流チーム

社会教育チーム

紙を部屋に張りだそう

簡単レシピを用意しよう

食と農チーム

散歩・街歩きチーム

空き家・空室チーム

世代間交流ーかるた作りと読み聞かせ
おいしい野菜の選び方と簡単料理
地域のキズナ~これっておせっかい?
初心者だから楽しめるすぎなみ街めぐり
空き家・空室に関心のある人集まれ!

コース設定に悩む...

じゅくと 大人の塾に参加中の...イカした! 大人たちに聞きました! 今月の大人“塾っ人” 出身 自分にキャッチコピーをつけたら? 自分のつながりPR

海老沼 富美代さん
(エビちゃん)
山形県
料理・手作りおもちゃはおまかせ!
地域の方々や講座で知り合った方々とつながっているので、何かヒントを教えてください。

菊池 利子さん
東京都江戸川区
地域の輪をつなげたい
ゆうゆう館いきいきクラブのアイドル!
「きずなサロン」「ママズ工房」「パソコンサロン」「高齢者の体操クラブ」など地域のおせっかいしてます。

小林 一朗さん
(いちろー)
群馬県
パソコン作業ならお手伝いします。
座禅と瞑想にもチャレンジしています。

大平 継美さん
群馬県
今は気がない!
公務員をただなんとなく長くやっていますが、二度生まれの人生をどう生きるか、最近考えています。

すぎなみ大人 塾 してる?の発行にあたって
この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。